



# 創誠健和



旭川中学校 学校通信 6月号

令和5年 6月 30日発行

今年も

## 様々なPride Projectが始動!

### ① 地域の方々に支えられ、窓の外は優しさであふれています「花壇整備」

今年度も各教室から観ることの出来る学校花壇を、地域の皆様の支えて整備することが出来ました。東旭川中央地区市民委員会・東旭川地区社会福祉協議会をはじめ、包括支援センターや近隣に所在する各施設からの温かいご支援で、ペコニアやマリーゴールド、サントリー元気野菜のトマトなど、200株を超える苗で学校花壇を整備できました。



### ② 美術部員が大活躍



運動部員たちの中体連に向けた練習が続き、なかなか地域活動に参画できない中、5月27日(土)の動物園通りの花壇整備に引き続き、美術部員が大活躍です。6月18日(日)に中央地区市民委員会の皆様とともに清掃活動に参加しました。一つ一つの実践が、校内はもとより、家庭や地域にも徐々に広がり、世界一の優しさにあふれる学校へとまた一步前進することが出来ました。感謝。感謝。感謝です。



### ③ いよいよ中体連! 制約無しでスポーツを「する」「みる」「ささえる」

「スポーツ」と聞いて、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか?

陸上や水泳、野球にサッカー、テニスといった球技など、いわゆる体育の授業や部活動で経験したことがある競技種目を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。

そもそも、スポーツという言葉の語源は、英語の「Sport」が19~20世紀にかけて一般化した言葉であり、その由来はラテン語の「deportare」(デポルターレ)とされています。

デポルターレとは、「運び去る、運搬する」という意味。転じて、精神的な次元の転換、「義務からの気分転換、元気の回復」仕事や家事といった「日々の生活から離れる」気晴らしや遊び、楽しみ、休養といった要素を指しています。つまり「スポーツ」という言葉が示す範囲は本来とても広いもので、決して競技スポーツに限るものではありません。

そして、スポーツとの関わり方は「する」ことだけに留まらず、夢中で観戦し、応援すること、という方も多いでしょう。スポーツを「みる」「ささえる」という行為によって、自分との戦いに身を投じるアスリートの姿に心を震わせ、勇気をもらうこともできます。これらがスポーツの本質であり、人生を楽しく、健康的で生き生きとしたものにするために、勝利を追及するもよし、自分ペースで楽しむもよし、誰もが自由に身体を動かし、自由に観戦し、楽しめるものであるべきものです。

そんな「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むという全ての人の権利」が、この3年間、新型コロナウイルス感染症の影響で中止や制限を余儀なくされました。その状況で練習に励んできた本校の3年生がついに中体連の本番を迎えます。新型コロナウイルスの感染症法上の分類が、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられ、観戦ルールなどの緩和もが進み、スポーツ大会が「大声あり」で開催できるようになり、コロナ以前の状態に戻っています。制限がなくなれば、応援歌の合唱や鳴り物の使用、観客同士のハイタッチなども可能となります。

旭川中学校の代表として中体連地区大会に参加するにあたって、全校生徒による壮行会が開催され、各部の代表による誓いの言葉が述べられました。

各部の部長等による宣誓は歴史ある旭中の代表としての健闘を約束するものであり、まさに「あさひやまプライドプロジェクト」です。「今日までどんな練習を頑張ってきたのか」、「その成果をどのように発揮したいのか」、加えて、日ごろの保護者や指導者に対する感謝の気持ち、チームメイトやクラスの仲間との絆など、人と人の繋がりについての言葉が盛り込まれていました。

旭中生としての「誇り」と「Pride」が感じられる内容であり、本校選手団の確実な成長を実感できる壮行会となりました。



# 速報! 中体連結果報告



野球部	1回戦惜敗
男子ソフトテニス部	団体：決勝リーグ進出ベスト8 個人：加藤・小野寺，山本・押切ペアベスト16(上代出場)
女子ソフトテニス部	団体：予選リーグ敗退 個人：三浦・來正ペアベスト32
男子卓球部	団体：優勝(上代出場) 個人：優勝：浦崎，3位：坂田，5位：阿部，入江(上代出場)
女子卓球部	団体：決勝トーナメント1回戦惜敗 個人：蠣崎，熊崎ベスト16
バレーボール部	準優勝(上代出場)
柔道部	男子：団体準優勝 個人：2位：志村・佐藤，3位：川向・成田・本郷・高柳・笹川(上代出場) 女子：団体3位 個人：優勝：清水ま，2位：宗像・清水ひ，3位：阿部(上代出場)

◆今年度から剣道は上代から、水泳・体操は全道大会からスタートです！